

GENIUS

～災害に備えたくらし～

設計主旨

今後起こるとされている南海トラフ巨大地震。様々な被害が起き全国では32万人の死者が出ると予想されています。その中でも津波被害をピックアップし設計しました。

私は今回、愛南町柏に「道の駅兼避難所」を設計しました。柏に建てた理由は、自然豊かな街であり、海と山に囲まれており愛南町のハザードマップには5m以上10m未満の津波が発生すると予想されているからです。名前は、「GENIUS」(ジニアス)と名付けました。名前のGENIUSにはラテン語で守護神、守護霊といった意味があり、この建物によって人々の命を守ってほしいという願いを込めて付けました。

「GENIUS」を設計するうえで3つのコンセプトを立てました。

1つ目は「地域活性化」です。少子高齢化などにより地域に活気がなくなっていきます。そこで、道の駅に地元の食材を使用したレストランを設け地域の魅力を発信していけるようにしました。

2つ目は「自然との調和」です。壁面に角材を張り一階部分の休憩スペースの壁は木の根をイメージした壁を設け、建物の見た目を守護神の宿る御神木をイメージし、自然豊かな柏に溶け込むようなデザインにしました。

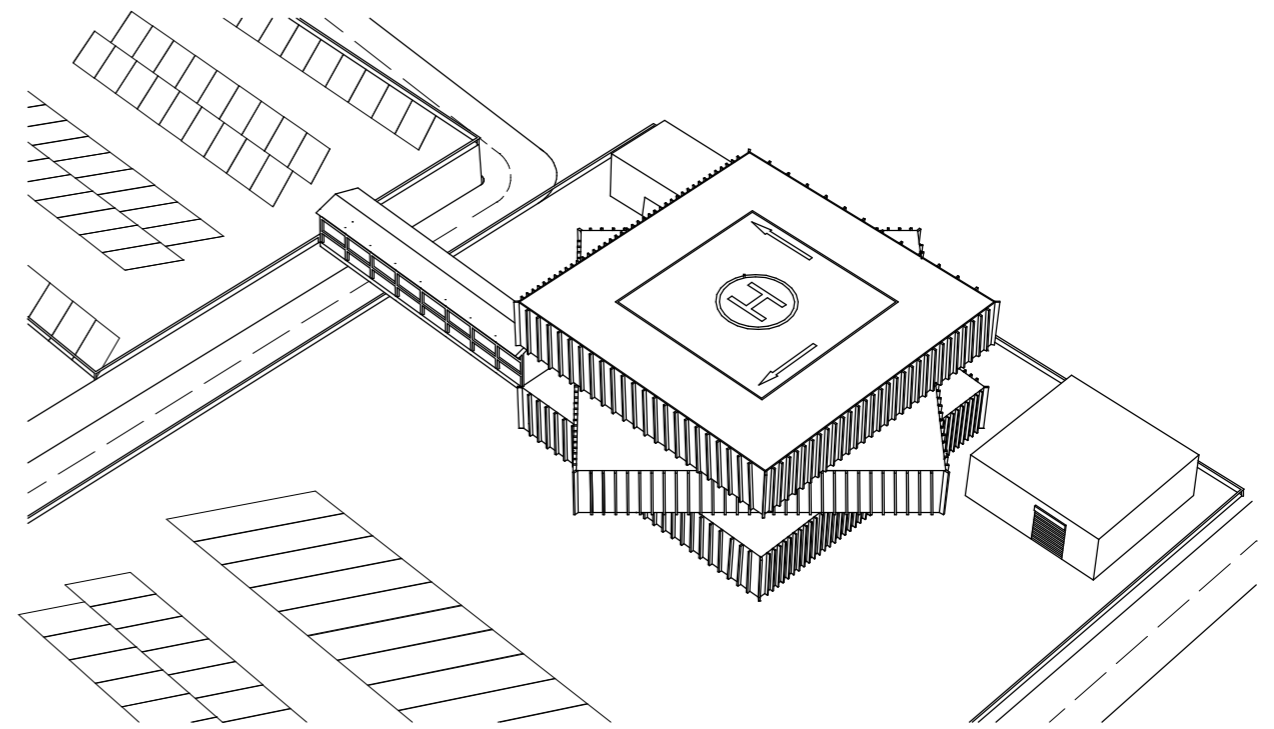
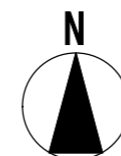
3つ目は「災害に備えた暮らし」です。災害用の倉庫、体育館、ソーラーパネルを設けました。柏小学校が避難所になっていますが、小学校に津波が来る予想がされているため、少し上がった所に建てました。普段から体育館を開放し子供たちに遊んでもらうことで避難所の位置を覚えてもらえるようにしました。そして地域の人を連れて避難してほしいです。

地域を守り発展させていく道の駅に皆さん来てみませんか。

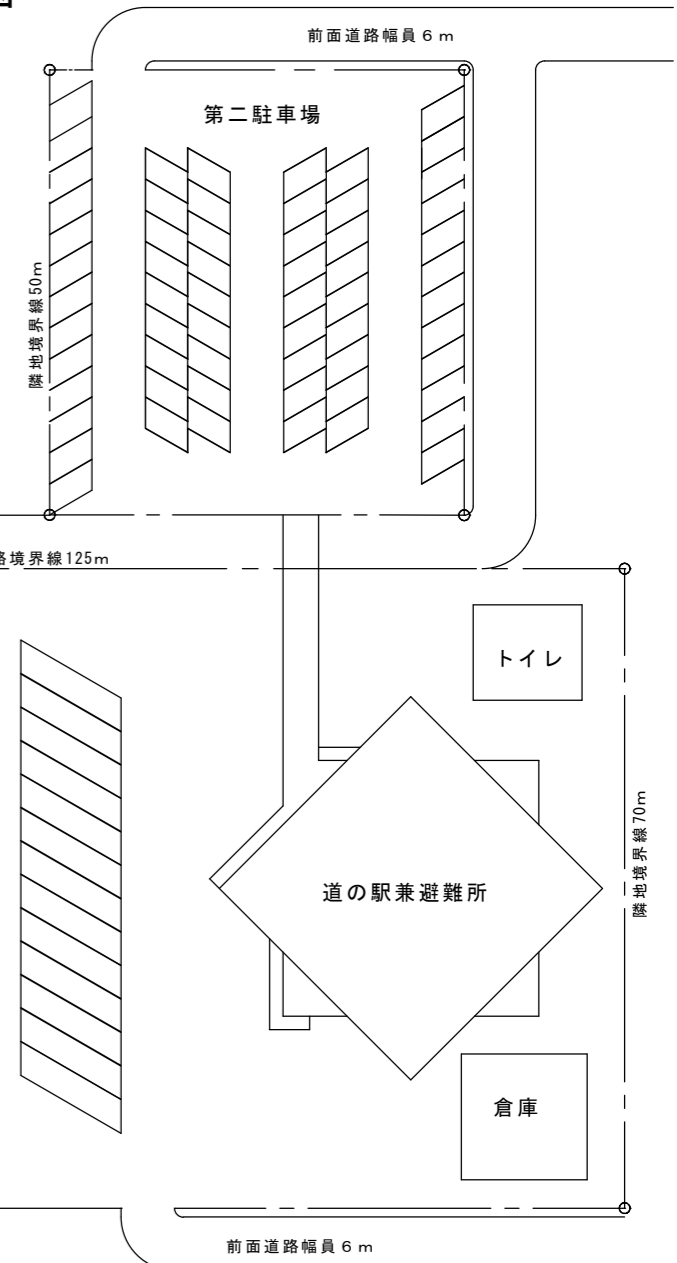


周辺地図

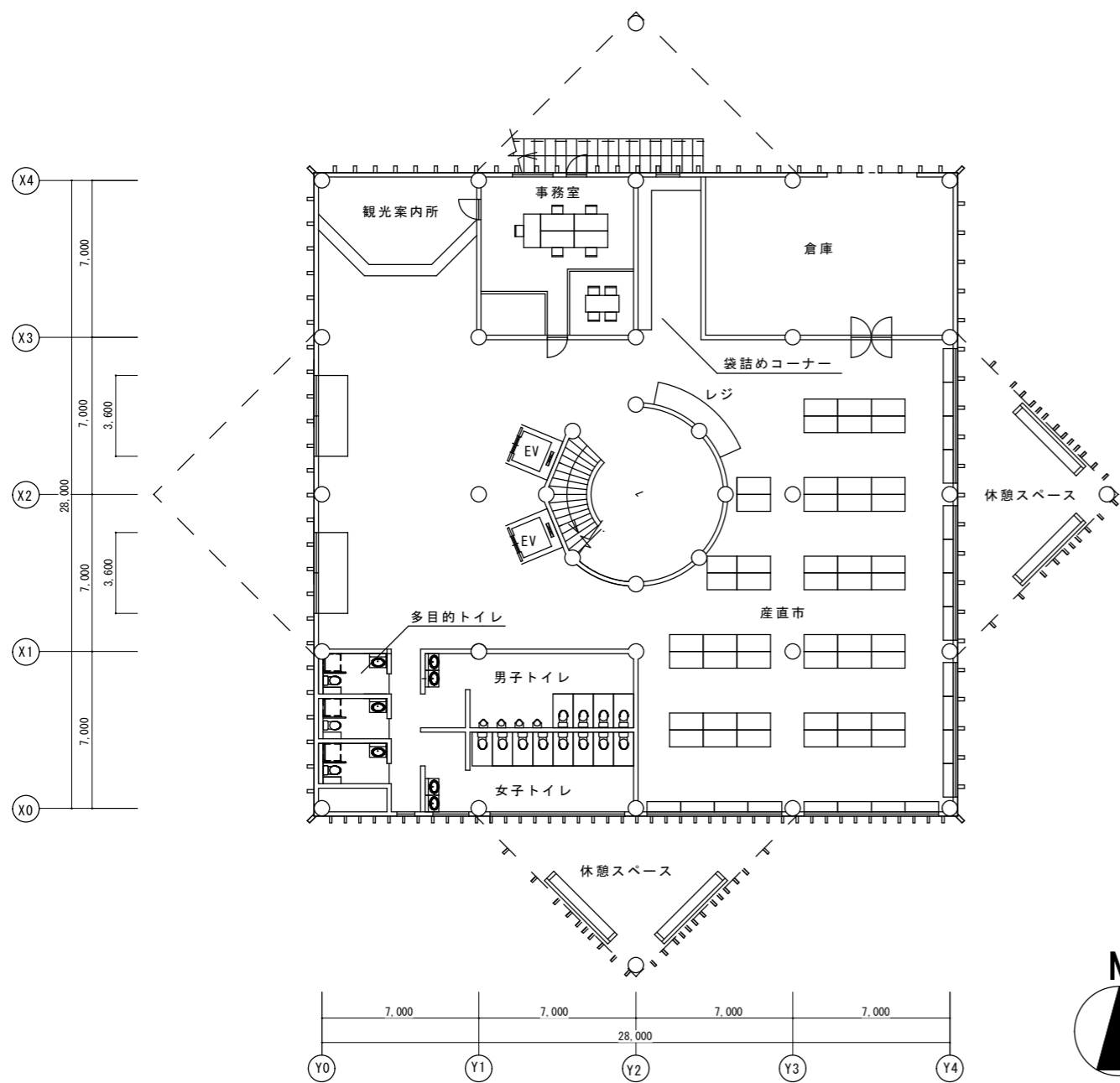
敷地面積	11,000㎡
建築面積	1,304㎡
延べ床面積	2,765㎡
構造	RC造
階数	地上3階
最高高さ	15m
普通車駐車場	166台
大型車駐車場	13台



鳥瞰図



配置図1/600



一階平面図 1/400

一階



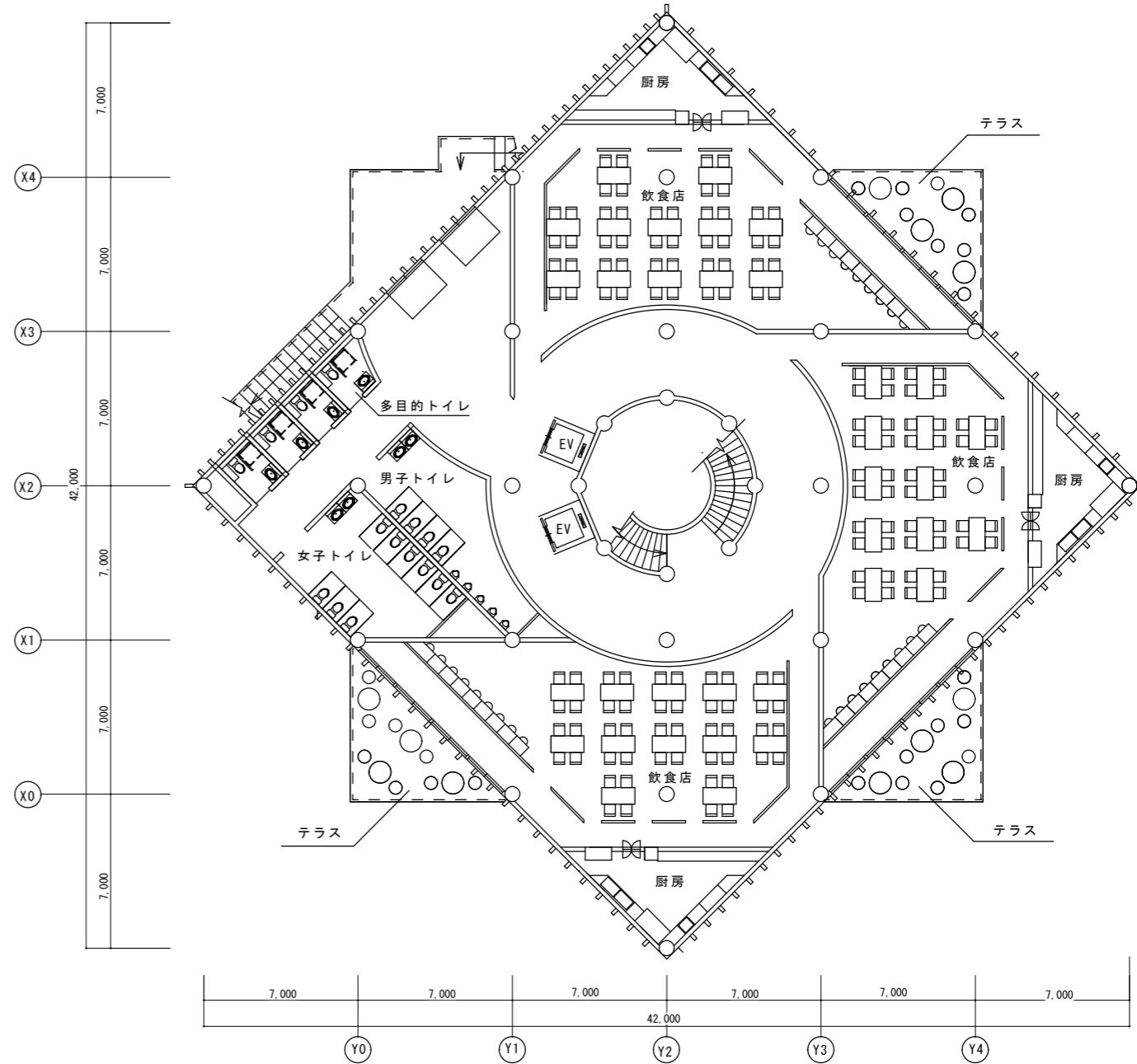
観光案内所 (イメージ)

観光案内所では、愛南町の魅力を堪能することのできる観光スポットを紹介しています。高茂岬や鹿島など自然に触れることのできるスポットや紫電改展示館など歴史を学べるスポットも紹介しています。



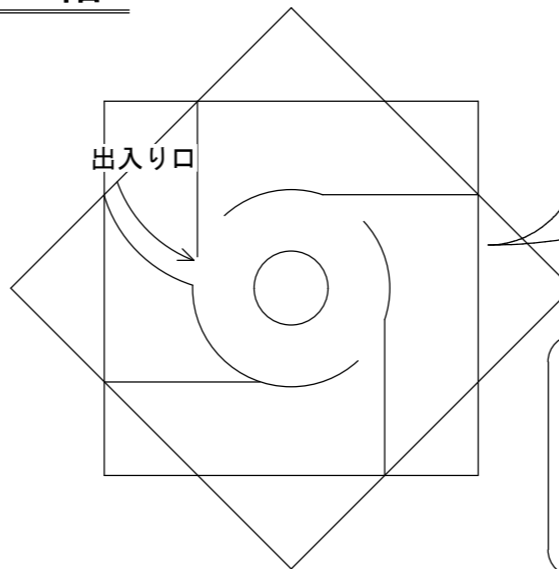
産直市場 (イメージ)

産直市場では新鮮な野菜や魚などを買うことができます。天井が高いと居心地がよくなったり、会話を楽しむことができます。なので天井高を4.2mにしたり、市場に柱が多くならないようにし広々とした空間で買いものができるようにしました。



二階平面図 1/400

二階

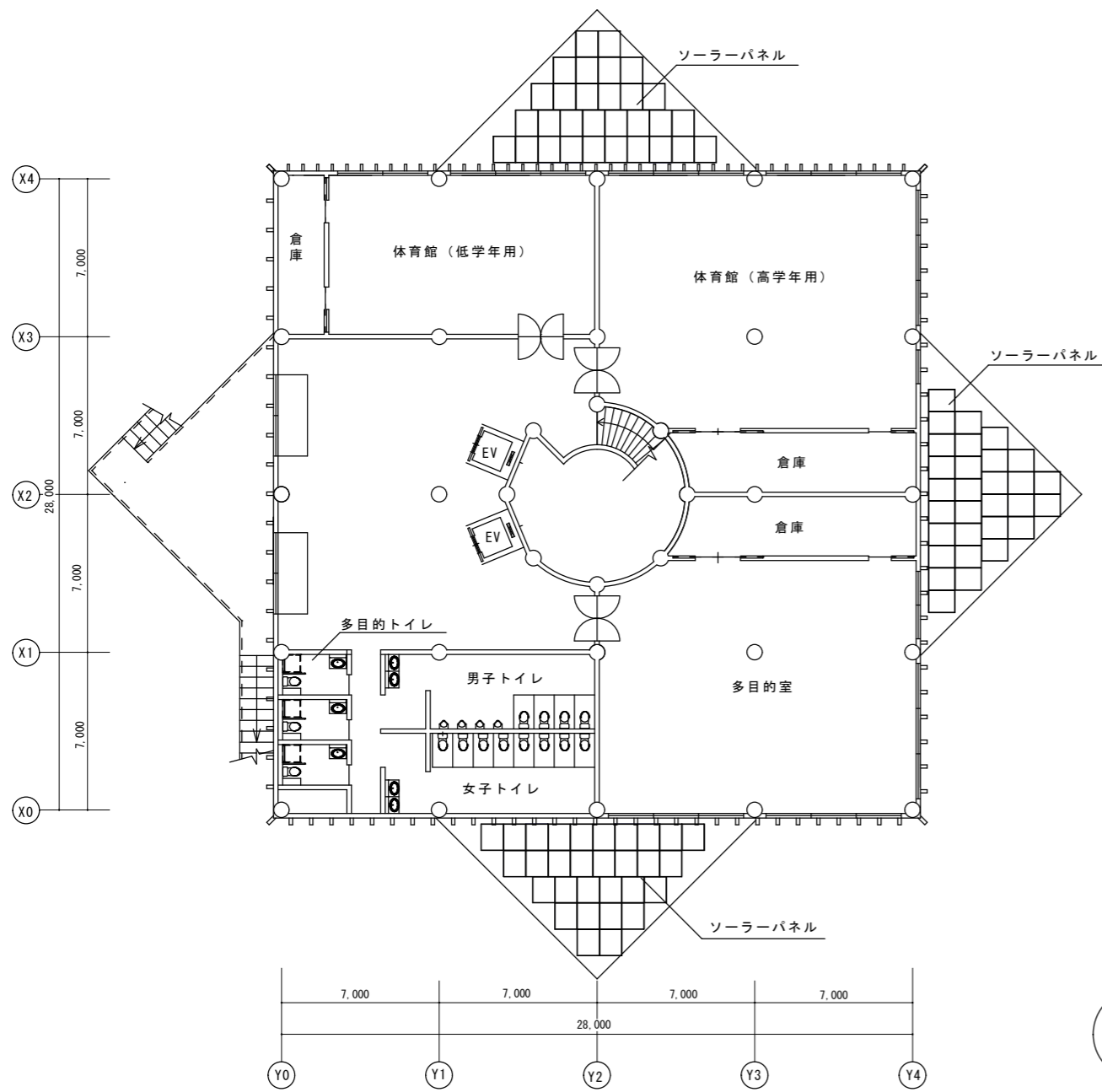


入口の壁を狭まっていくようにすることで中に引き込まれるようなデザインにしました。また、曲面には人の気持ちを和らげたり、室内を広く見せたりする効果があります。なので、壁に曲面を多く設け穏やかな気持ちで食事ができるスペースにしました。

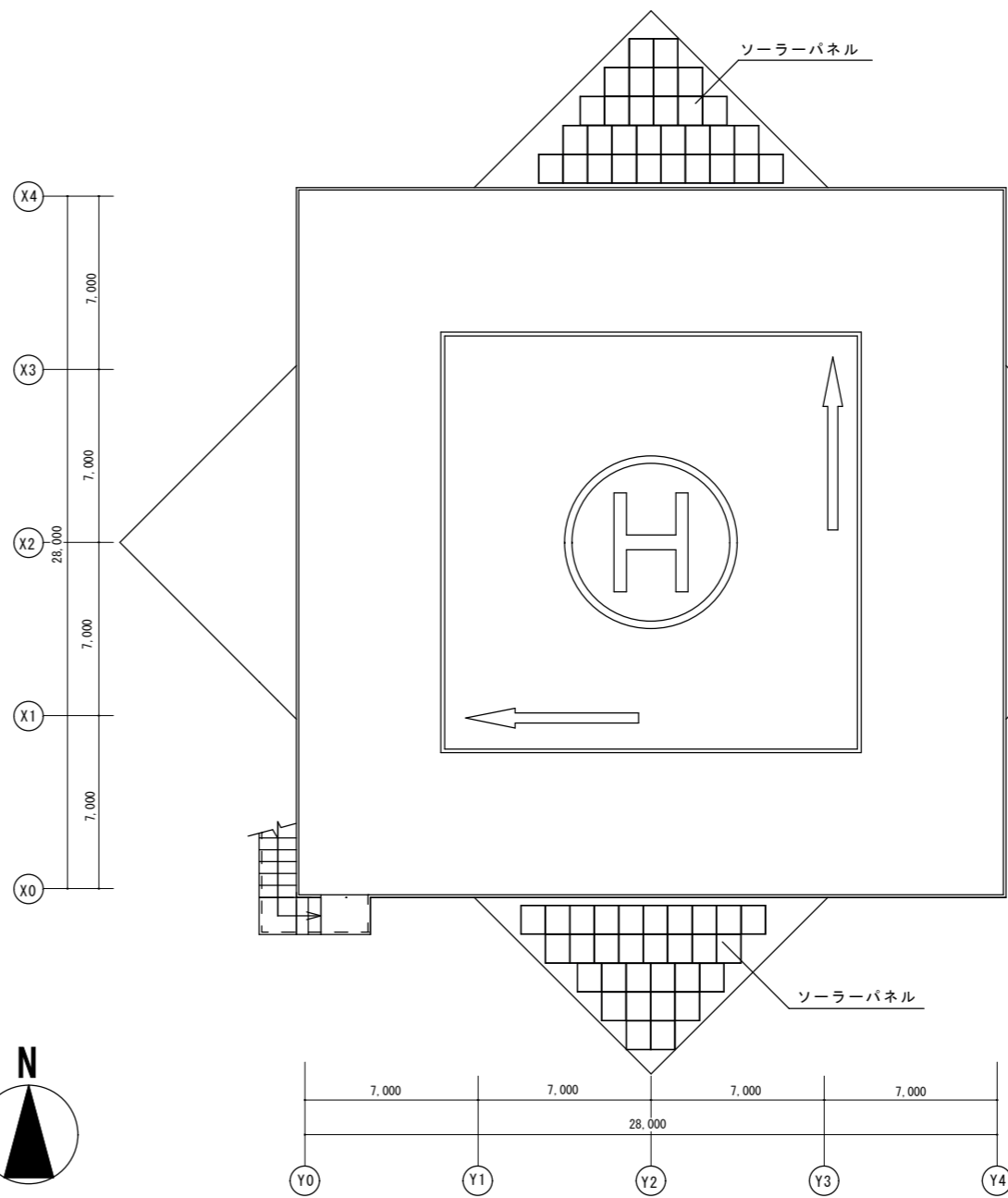
飲食店では、愛南町の新鮮な野菜や魚などを利用した料理を食べることができます。テラス席では柏の自然に囲まれて愛南の食材を食べることができます。是非食べに来てください！



飲食店 (イメージ)



三階平面図1/400



屋上平面図1/400

屋上



ヘリポート

災害時において被災区域では治療が困難な負傷者を搬送したり、復旧活動に必要な人員や救援物資を積み下ろしたりします。ヘリポートを道の駅の屋上に設置しました。

三階



体育館(イメージ)

体育館は2つに分かれており、低学年用と高学年用にしました。体育館は常に開放して地域の子供たちの遊び場になってくれたらいいと思います。この体育館は災害時避難所として使用できます。



多目的室(イメージ)

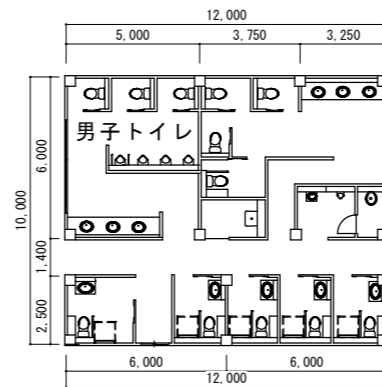
多目的室はサークル活動、会議、地域のイベントなど様々な用途で利用可能です。多目的室も体育館同様に災害時には避難所として利用可能です。



ソーラパネル

災害時には電力が必要になります。なので、2階の屋根部分にソーラーパネルを設置しました。普段は、発電した電力を道の駅で使います。災害時には、復旧活動などに使えるようにしました。

トイレ

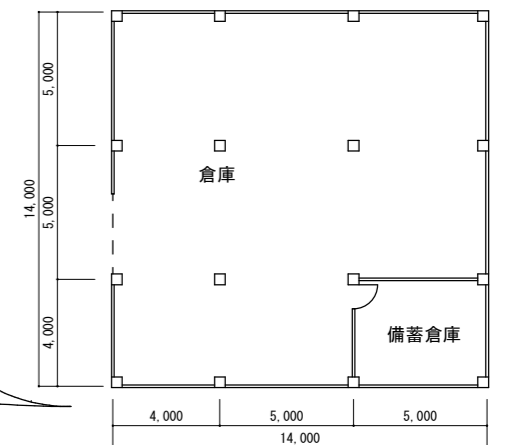


一階平面図1/400

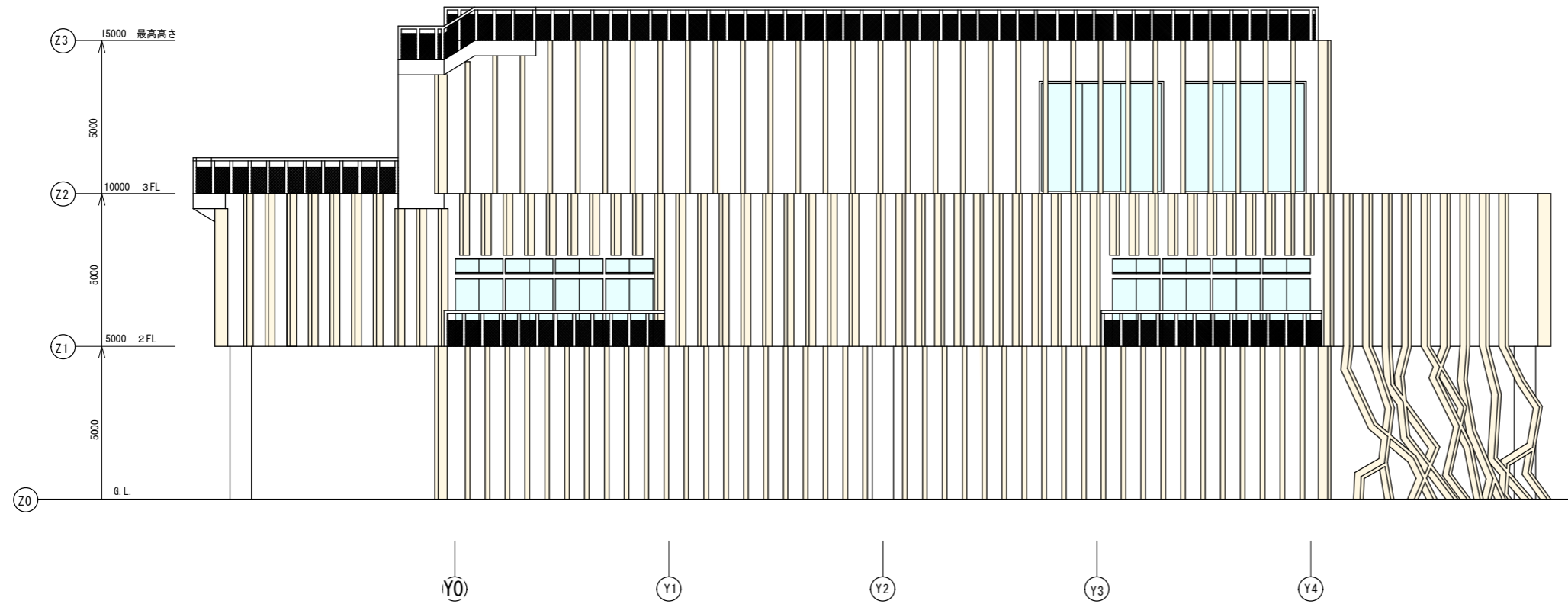
このトイレは、道の駅が閉店した後も利用できるトイレです。今、公衆トイレで問題になっていることがあります。それは、ジェンダー問題です。特にトランスジェンダーの方は、性自認に従ってトイレを利用すると周囲の視線や注意が気になるという不安が付きまといまいます。身体の性によって利用する場合も、異性のトイレを利用しているという違和感から使いにくさを感じる人がいます。なので、多目的トイレを多く設けることでジェンダーに配慮し、みんなが使いやすいトイレとしました。

この倉庫には、道の駅でイベントを行う際に使用するテントや机などを収納しています。また、このテントなどは災害時にも使用できるように多めに収納しています。奥には備蓄倉庫があり愛南町柏の人口535人(国勢調査より)が避難しても大丈夫なよう600人分の備蓄倉庫になっています。

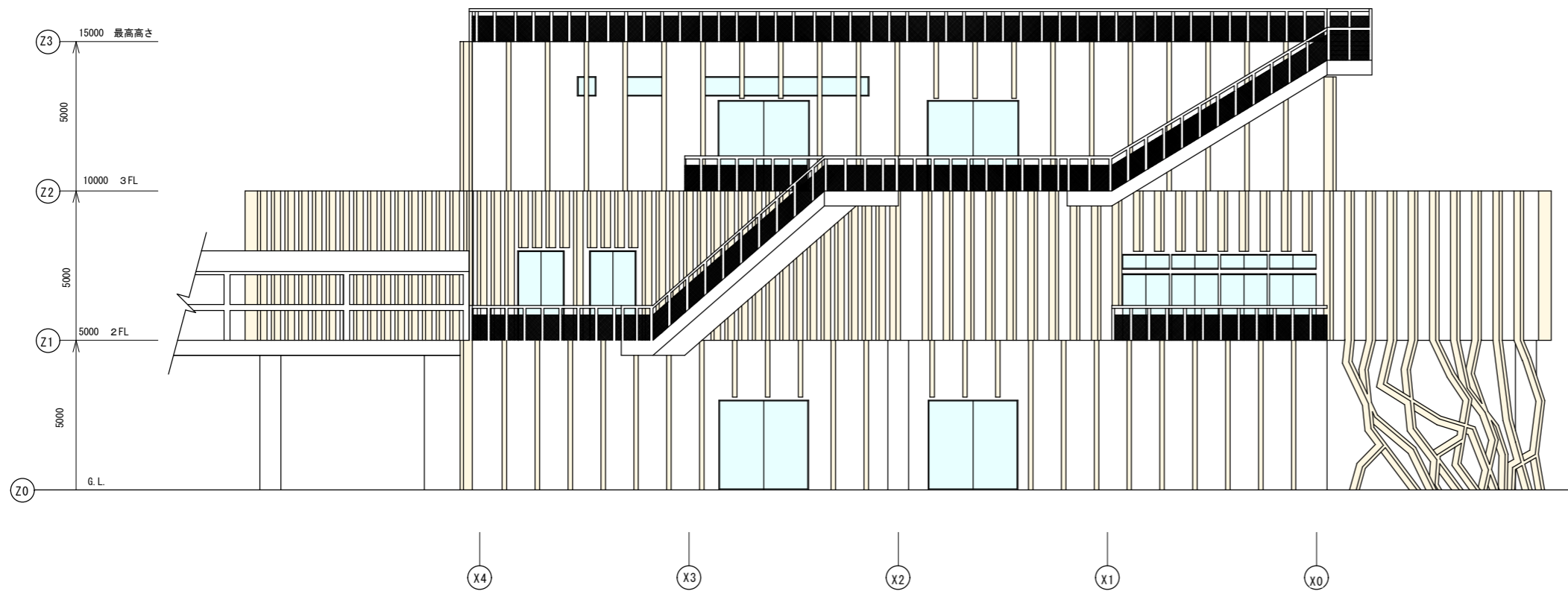
倉庫



一階平面図1/400



南立面図1/300



西立面図1/300



模型写真



ルーバー

ルーバーは直射日光を程よく遮りながら換気効果を得られ、室内に明るさを持たすことができます。また、日光をダイレクトに室内に取り込まないため、冷房負荷を減らす省エネ効果や、室内の日焼けや劣化防止効果もあります。今回、各面のルーバーの間隔を変えることで飽きさせないデザインにしました。



休憩スペース

休憩スペースでは、地域の方や道の駅に訪れた人たちが休憩しながら交流できる憩いの場としました。壁は愛南町柏に根強く残ってくれたことを願って木の根をイメージして作りました。木と木の隙間から入ってくる光を浴びながら休憩することができます。